

古希を迎えた元小学生の集い

三浦市 永島セツ(佐内出身)

今年の八月二十二日から二十三日にかけて越後湯沢の温泉宿に元小学生達二十八名が各地から集まりました。

昭和七年四月二日から昭和八年四月一日生まれの同期の桜たちです。

昭和十四年四月、有田村立春日新田小学校に入学した同期の桜は、男性三十六名、女性五十四名でした。

以前は男女別々に同期会を開催し、旧交を温めていました。

男性組の各々が定年を迎えた九年前から男女一緒に集まろうではないかと男性組からの呼びかけがあり、会は「春友会」と名づけられ、今年九回目の同期会が一期で開催されたという次第です。

私たちの生きた二十世紀は、まさに激動の世紀で幼いときは、軍国少年少女、長じては産業戦士、第一線を退いた現在では産業廃棄物などと呼ばれている世代です。

同期の桜の女性組には、木浦上越市長の伯母上、中川助役の叔母上もおいでなり、今回も会に出席されました。

幹事役を買って出た男性は、元中学校の教師で、昭和七年生まれの者たちが昨年古希を迎えた記念に小冊子を発行、続いて今年古希を迎える昭和八年生まれの者たちのためにも小冊子を作って出席者に配ってくれました。

七十歳の大台に飛び乗った私たちがこれから迎える人生の黄金時代、それをより充実した実りの秋としましょう、の合言葉を一同胸に疊んで散会しました。

毎年幾人かの物故者も出ているので、来年また元気で再会したいね、一瞬先は聞というからこれが人生の別れになるかもしれないわね、友達のご縁を大切にしてい一日一日をお互い大切に生きますようによとなごりを惜しみながら……。

